

## 丹南中学校授業スタンダード 10か条

丹南中学校として、「教え込む授業」から「自ら主体的に学ぶ」授業への転換する中で、日々行っている授業の中で、何を目的にし、何を提示するかなどの工夫をしていくことも大切であると思われます。丹南中では生徒の「学習規律」は存在します。しかし教師自身が行う授業に対して、1つの目安というか指針のようなものも必要ではないでしょうか？これはあくまで絶対、毎回行うというものではなく、1つのスタンダードとして意識しましょう。（以下にあげている事柄は、先生方が普段意識されているものばかりだと思います）

より「生徒が主体的に学ぶ授業作り」に役立つのではと思います、提案したいと思います。

①予習の工夫	<p>予習を通じて、本時の学習内容に見通しを持たせて授業に臨ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習動画の作成、配信（配布）をしましょう。</li> <li>・プリントによる予習教材</li> </ul>
②目標、流れの提示 板書の工夫	<p>授業内で本時の「学習の目標」を必ず提示し、本時の学びのポイントを明確にする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による「学習の目標」の提示の工夫をしましょう。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学習の目標</p> <p>・・・ _____</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の行程の提示  <div style="margin-left: 20px;">作業の提示 例) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ペア</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ</span></div> </li> <li>・板書の工夫 構成に合わせた区切り  <div style="margin-left: 20px;">チョークの色使いの工夫</div> <div style="margin-left: 20px;">子どもの意見を取り入れたスペースの確保</div> </li> </ul>
③学習規律	<p>授業を通じて、生徒に学習規律を定着させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹南中授業規律10箇条の徹底。</li> <li>・忘れ物、ベル着等の確認、指導。  <div style="margin-left: 20px;">※忘れ物や遅刻、不適切な発言や私語はその都度、授業者からの指導を入れましょう。</div> </li> <li>・発表、発話のルール作り ※スタンダード⑦参照</li> </ul>
④問題、まとめの視覚化	<p>生徒に視覚的に訴えかけるような、問題等の提示、まとめの提示を心がけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器を用いて、視覚的にわかりやすく生徒に提示しよう。</li> <li>・ICT 機器でなくても、ピックアップカードや絵などで視覚的に訴えることで生徒の印象に残る。</li> </ul>
⑤個の学びの充実	<p>ペアや話し合いも大事だが、個人でじっくり考える（練習問題を解く）時間を授業内で確保しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で個人で作業する機会を持たせる。  <div style="margin-left: 20px;">例（英語で）文法の練習問題・自分の意見を書いた英作文など</div> <div style="margin-left: 20px;">（数学で）文章題や図形の問題の取り組み</div> <div style="margin-left: 20px;">（社会で）資料からの読み取り</div> <div style="margin-left: 20px;">（技能系で）リコーダーの練習時間 美術の絵画など</div> </li> <li>・教師による机間巡視での支援をする。</li> <li>・補助の先生による支援の工夫。</li> </ul>
⑥ペア、グループの活動の工夫	<p>ペア、グループを取り入れた授業を積極的に取り入れ、「教え合ったり」「伝えあったり」し、理解を深めるように取り組もう</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の特色を生かしたアクティブラーニングの手法を研究しよう。</li> <li>個の学びで考えたことを、グループやペアの中で伝えたりすることで学習の理解が高まる取り組み。</li> <li>「教え合う」「伝え合う」ことによって、生徒の表現力を高める。</li> <li>教師による支援の工夫をしよう。</li> </ul>
⑦発言、発話のルール作り	<p>教室の言語環境、掲示物などに明確のルールを設けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敬語の徹底</li> <li>発表の仕方 「はい」→立つ→「〇〇です。」</li> <li>大きな声でわかりやすく発表させよう</li> <li>説明の仕方のルール作り 「私は〇〇だと思います。なぜなら・・・」など伝える力を伸ばすための工夫をさせよう。※朝の会や終会なのでも司会、発表の機会を作る</li> <li>スピーチ等の取り入れ</li> </ul>
⑧教師の話しかた、提示のしかた	<p>教師の話しかたや指導での言葉遣い等から、生徒の指標となれるように工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きちんとした言葉遣いをする</li> <li>子どもと目を合わせて対話しよう</li> <li>子どもの発言に対してお礼は不必要 先生のための発言ではない!</li> <li>一人の子どもの意見で授業を進めない</li> <li>子どもの発言を途中から引き継がない</li> </ul>
⑨「認める」の徹底	<p>授業内のあらゆる機会に「認める」機会を大切に、授業内での個人のがんばるを評価できるように。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の発言を積極的に認める</li> <li>スピーチや説明内容を認める</li> <li>書画カメラ等を用いて作品や実技を認める</li> </ul>
⑩振り返りと評価の方法	<p>授業のまとめ、振り返りを大切にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートの活用 生徒の定着度、理解度の確認 発表の確認 教師とのコミュニケーションに活用</li> <li>評価規準に基づいた評価を 発表、スピーチ、説明への評価をしよう。</li> </ul>